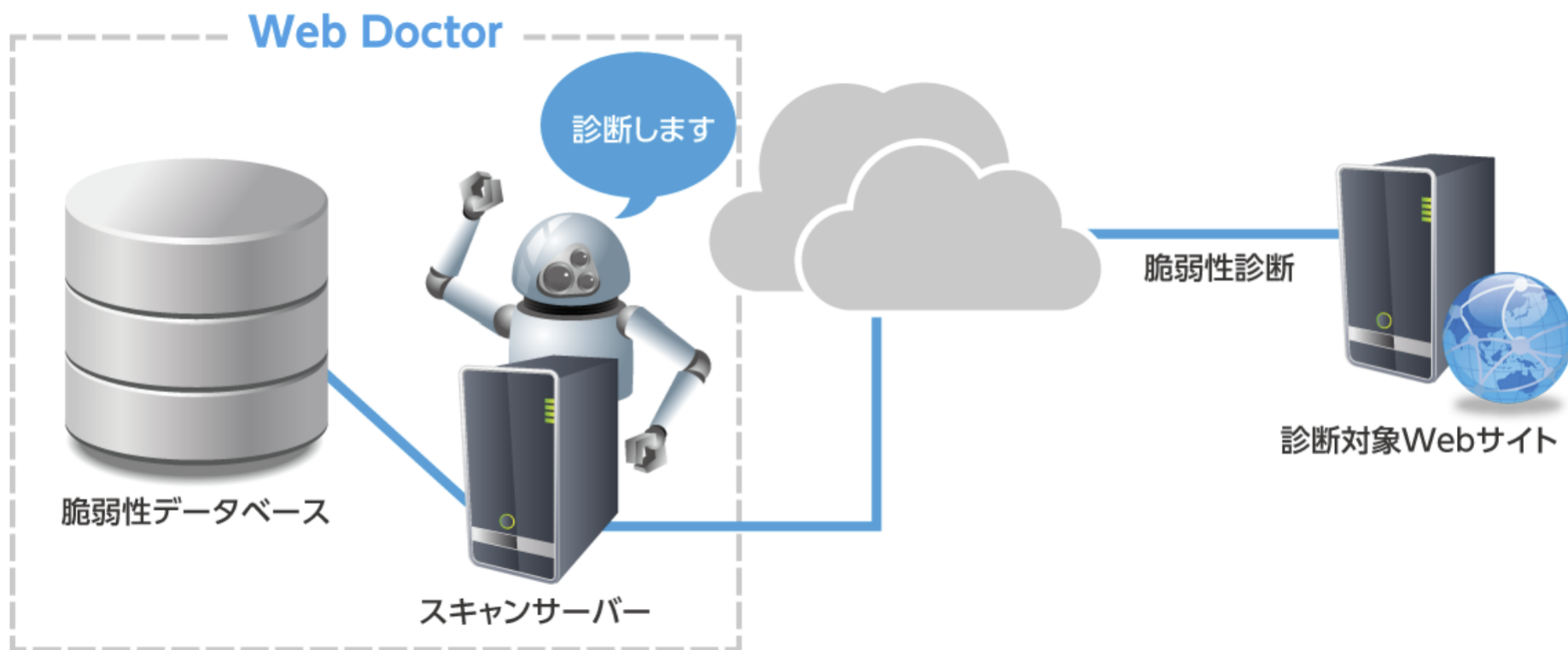


セキュリティ診断

WebDoctorサービスラインナップ

SaaS型脆弱性診断サービスWebDoctor

- Web Doctorは、SaaS型の診断用ツールを利用したWebサイトの自動脆弱性診断サービス
- Web サーバーへのアプリケーションのインストールや、専用ハードの設置などは一切不要で、簡単なお申し込みだけでいまずぐ診断を開始



※Web DoctorはSaaS型ツール利用したWebアプリケーションの脆弱性診断サービスです。

Web Doctorの特長



簡単

簡単なお申し込みだけで診断を開始できます

SaaS型サービスであるため、Web サーバーへのアプリケーションのインストールや、専用ハードの設置などは一切不要です。簡単なお申し込みだけで最新のセキュリティ情報に基づいた診断を、今すぐに始めることができます。



早い

診断開始からレポート提出まで短期スピード診断

ツールによる自動診断なので専門スタッフによる脆弱性診断に比べると、脆弱性診断にかかる日数を大幅に削減できます。診断開始から3～5営業日で診断レポートを提出いたします。



低コスト

ツールによる自動診断なので低コスト

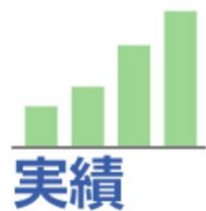
ツールによる自動診断なので低コストで診断できます。専門スタッフによる脆弱性診断に比べると、脆弱性診断にかかる費用を大幅に削減できます。



安心

自社開発（純国産性）の診断ツールによる安心

Web Doctor（SecurityBlanket）は自社開発製品のため、新たに発見された脆弱性にも即時に対応できます。



実績

豊富な診断実績

Web Doctor（SecurityBlanket）の開発元である株式会社 M&Kは、診断事業者として10年以上の実績があります。年間に約500サイトの診断を実施しています。



認可

情報セキュリティサービス台帳の認可サービス

Web Doctor（SecurityBlanket）は、情報セキュリティサービス台帳の認可サービスです。

情報セキュリティサービス台帳には、経済産業省が定めた「情報セキュリティサービスに関する審査登録機関基準」への適合性を情報セキュリティサービス基準審査登録委員会が審査し、適合とされたサービスのみが掲載されています。

https://sss-erc.org/iss_books/019-0016-20/

お問い合わせから報告書提出まで

STEP 1: お問い合わせ

Webサイト・Webアプリケーションの脆弱性診断をご検討中のお客様は、お気軽にお問い合わせください。

STEP 2: ヒアリングシートのご記入

弊社担当から対象のWebサイト・Webアプリケーションに関して簡単なヒアリングを行います。
ヒアリングの際に、診断範囲や診断に対するご希望等についてもお伺いしています。

STEP 3: 診断可否 事前確認

アプリケーションの仕様により、極稀に、ツールでは診断できない場合がありますので、お申込み前に『診断可否確認』を実施させていただきます。

STEP 4: スケジュール調整

診断希望日をお伺いしたうえ、スケジュール調整を行い、診断日を決定いたします。

STEP 5: 診断

STEP 6: 報告書提出

診断日より、3～5営業日で報告書を提出するスピード診断です。

Webアプリケーション診断サービス

お客様のWebサイトにアクセスし、セキュリティ上の問題点を検出します。
結果レポートは脆弱性カテゴリ毎に概要、再現手順、対策方法、同様の発生箇所一覧を記載。
発生箇所一覧はURL、パラメータの情報ですので、サイト改修時の資料としてご利用いただけます。

WebDoctor

- 自動に診断する一回ライセンス
- 世界的基準に合わせた自社開発※¹の診断エンジンを利用した自動ツール診断

WebDoctor Pro

- 診断項目は全てセキュリティエンジニアによる手動検査を実施
- サイトの仕様に合わせた診断が可能
- 診断結果の報告会を実施
- お客様による問題箇所の修正後再診断を実施

WebDoctor Advance

- 手動 + 自動のハイブリッド診断
- 診断対象のページを区分し、サイト全体は自動で診断、主要箇所は手動で診断
- 診断結果の報告会を実施

WebDoctor 365

- 自動診断ツールを利用した年間ライセンス
- お客様ご自身でツール管理コンソールから年間を通して任意のタイミングで診断可能

プラットフォーム診断サービス

外部に公開しているシステムのネットワークや内部のネットワークに対し、OS、ミドルウェア等のプラットフォームに関するセキュリティ上の問題点を可視化します。結果レポートは脆弱性カテゴリ毎に概要、対策方法を記載します。

WebDoctor PF Standard

- 自動に診断する一回ライセンス
- 世界的基準に合わせた自社開発※1の診断エンジンを利用した自動ツール診断

WebDoctor PF Pro

- 診断項目は全てセキュリティエンジニアによる手動検査を実施
- サイトの仕様に合わせた診断が可能
- 診断結果の報告会を実施
- お客様による問題箇所の修正後再診断を実施

WebDoctor PF 365

- 自動診断ツールを利用した年間ライセンス
- お客様ご自身でツール管理コンソールから年間を通して任意のタイミングで診断可能

診断の選び方

	エンジニア手動診断	ツール自動診断
推奨される 診断対象	・ECサイト ・大量の個人情報扱うシステム ・医療／金融関連システム ・新規公開前のシステム ・ログイン機能の有効性確認 ・セッション管理機能の有効性確認	・企業のコーポレートサイトなど、攻撃による影響が小規模と想定されるサイト ・主に静的なコンテンツのみのサイト ・定期的な継続診断利用
メリット	・細部まで精度の高い診断が可能 ・実施の攻撃手法に沿った診断により、セキュリティ対策の有効性が確認可能	・安価で網羅的な診断が可能 ・オンデマンドでいつでも実施可能 ・診断期間が短い（数時間から1日程度） ・診断結果が即時出力可能
デメリット	・エンジニアが稼働する為、費用が高額になるケースが多い ・診断期間が長い（数日から数週間）	・診断項目に制限があり、細部まで診断できない事がある

WebDoctorは専門のエンジニアによる手動診断も組み合わせて実施する事が可能です。
システムの用途、構成、ご予算等に応じて柔軟にご利用頂けます。